

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 坂田 師通
副会長 青木 善明
幹事 橋口 清和
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第2061回 平成31年3月28日プログラム

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング
四つのテスト | 8. 委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 外部卓話 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | 12. |

高鍋ロータリークラブテーマ

『ロータリーの心を地域の人に届けよう』

第2730地区ガバナー 川原 篤雄
中部分区ガバナー補佐 安田 秀一
RI テーマ 『インスピレーションになろう』
地区テーマ 『プラスワンの考動を』
3月の月間テーマ
水と衛生月間

本日の例会案内

*夜間例会&観桜会 場所=藤原牧場
18:10 ホテル泉屋出発 18:30 点鐘

次週例会案内; 4月4日 (2062回)

*米山ランチBOX *月初めのセレモニー
*RYLA 参加報告 *雑誌紹介 *クラブ研修
*例会終了後理事会開催

第2060回 例会内容 (3/14)

■会長の時間

会長 坂田 師通 君

黒田長舒は、明和2年(1765年)日向高鍋藩7代藩主種茂の二男(幸三郎)として生まれましたが、天明5年(1785年)21歳のとき、秋月藩8代藩主として迎えられました。

秋月藩は天明4年(1784年)7代藩主黒田長堅が嗣子がないまま、18歳で若死にし、断絶の危機を迎えました。秋月藩のこの事態に、福岡藩は秋月藩廃絶を画策しましたが、家老渡辺典膳などの努力で藩取り潰しの危機は免れました。この時、長舒は、父の高鍋藩主秋月種茂の母(春姫)が秋月藩4代藩主黒田長貞の娘という黒田家・秋月家双方の血をひき、若い頃から文武に秀で、その資質を高く評価されていたので、まさに秋月藩が跡継ぎとして渴望した人物でした。

藩主となった長舒は家老渡辺典膳などが建白した「国計大則」によって蓄えられた備蓄金を活用し、若さと英知を駆使してさまざまな業績を残していきました。

長舒は、父秋月鶴山、叔父上杉鷹山を畏敬し、それを範として諸般の振興を図り、藩主として領民への慈しみ



の心を終生持ち続け『経世済民』を実践しました。この頃、全国的に危機的な年貢の減少と農民の労働力が不足していたので、その増大を図るとともに人命尊重という人道上からも、長舒は子の間引きを禁止し、妊婦は庄屋に届けさせ、子育ての困難な家庭には養育米を与えました。更に領内を巡回し、領民に声をかけ、善行者を表彰し、80歳以上の人を招いて労をねぎらい、酒食をともにして贈物をしました。また、長舒は相撲を好み、力士を競わせたり、別荘で花火を揚げさせたり、八幡神社で歌舞伎芝居を催させたりして、人心を和ませました。領民への慈しみと高齢者へのいたわりの心を藩主自ら実践したのです。

安永4年(1775年)7代長堅のとき、後に稽古館と呼ばれ、藩校となる学問所が設けられました。長舒は、藩主となると本藩から祖来派の亀井南冥や京から山崎派の小川才次などを招き、学問を奨励しました。その後亀井南冥に学んだ原古処を稽古館訓導(後に教授となる)に任じました。向学心の旺盛な長舒は、自ら我が子連れで講義を受け、更に家老や諸役人に至る家臣たちにも広く講読させました。また、兵学をはじめあらゆる芸を奨励し熟達した藩士に師範役を命じ指導に当たらせました。

こうして長舒は、稽古館を、実父高鍋藩主秋月種茂の明倫堂、叔父米沢藩主上杉鷹山の興讓館に比肩する藩校とならしめ多くの人材を育成しました。長舒の治世の下秋月文化の中心的存在として原古処・緒方春朔・斎藤秋

圃などが輩出しました。原古処は、手塚家の二男として生まれましたが、生来の利発さと英才ぶりを儒学者原担齋に見込まれ、懇請されて原家の養子となり、家督を継ぐことになりました。その後、藩の諸奉行などを歴任し、長舒の信任を得て、稽古館の教授となり、秋月の文化・教育を大いに振興し、有為な人材を育成しました。また、長舒は原古処の意見を採り入れ、藩財政立直しとして、特に桑の栽培と養蚕を奨励していきました。

長舒の学問の奨励は、医学の研究発展にも寄与しました。長舒は7代藩主長堅が痘瘡に罹り、18歳で早世したので痘瘡を防ぐ方法を模索していました。その頃、藩医の緒方春朔がこの難病と取り組み、中国の書籍の研究を続けていたので長舒も協力し、遂にその免疫法が考案されました。春朔は、久留米の領民でしたが、医者を目指し長崎で勉強に励んだ後、長舒によって秋月の藩医に迎えられ、種痘の研究に専念してイギリスのジェンナーより6年も早く免疫法を完成させたのです。成功の陰には、上秋月の大庄屋天野甚左衛門の多大なる協力があればこそでしたが、藩主、藩医、篤志家の心がひとつになっての偉大な功績と称賛されるべきでしょう。この種痘法の成功は、秋月藩のみならず全国の医学の進歩に寄与しました。更に秋月文化の担い手として絵師齋藤秋圃がいます。秋圃は、長舒に見い出され秋月藩御抱え絵師となりました。秋圃は、長舒主催の太宰府書画展覧会に施龍図を出品するなど筑前絵師の中心的存在で、特に秋月時代は狩野派風御用絵のほか写生的鹿の絵の名手として知られていました。島原の乱戦闘図屏風は、秋月郷土館に、また長生寺の秋葉堂には天井絵が今に残っています。

長舒は殖産興業として特産品の開発製造を奨励しました。まず秋月名産として名高い葛の製品化でした。葛湯や葛根湯として知られる葛は、昔から解熱や筋肉の弛緩の働きがあり、風邪、下痢、肩こりに重用されていました。廣久本葛は、歴代久助の努力によって秋月藩の將軍家献上物となり、江戸でも高い評価を得、秋月を代表する特産品として全国に広まりました。

もうひとつは、川苔です。現在の黄金川に清泉が流れ込み、その流れの中に繁茂する青緑色の苔です。宝暦13年(1763年)秋月の町人遠藤幸左衛門がはじめて保護栽培を始めました。改良後献上された川苔は、長舒により寿苔と名づけられ、後に寿泉苔と改められました。藩は遠藤家に特許権を与え、筑前の特産品として奨励し、販売も大阪をはじめ異国へも輸出されました。長舒は他に茶・桑・楮・樫・木蠟・製紙・養蚕・びん付油などを産業として奨励し、藩財政の立直しと領民の生活を安定させていきました。長舒が行った今なお残る業績に、秋月街道に架かる目鏡橋があります。7代藩主長堅の急逝による8代藩主長舒擁立に際して、秋月藩はその代償として、福岡藩が幕府から任じられていた長崎警備役を代わりに務めなければならなくなりました。その頃、筑前秋月と筑後・豊前を結ぶ木の橋は、人馬の往来も激しく橋の損傷も著しく、大洪水時には瞬時に流されてしまいました。長崎に警備していた長舒は、長崎の石橋と同じものを野鳥川に是非架けたいと熱望しました。その頃は藩財政も厳しくなっていました。家臣や領民の要望が強

まり、長舒はついに架橋建設を決断しました。ところが不幸にも竣工を目前にして橋は崩壊し、病床にあった長舒は目鏡橋の完成を見ることなく、文化4年(1807年)43歳で逝去しました。しかし崩壊から3年後の文化7年(1810年)9代藩主長韶の時、悲願の目鏡橋が野鳥川に美しいアーチを描いてその姿を現しました。ただ、渡り初めのその時に、晴れやかな前藩主長舒の姿を見ることができなかったのは家臣・領民の涙を誘うものでした。

今でもこの目鏡橋を見るとき、秋月藩中興の祖と称賛される長舒の想いが伝わってくるようです。

(今回の会長の時間の文章は、朝倉市のホームページを殆ど引用し、一部加筆したものです)

■幹事報告<文書案内>

幹事 橋口 清和 君

- *次期クラブ増強委員会研修
セミナー (メ切4/15)
日時 2019年5月12日(日)
場所 シーガイアコンベンションセンター
登録料 2,000円
- *ロータリーデー記録誌送付
- *ガバナー事務所・地区事務所
ゴールデンウイーク執務の件
お休み 4/27~5/6



☆外部卓話

宮崎県立高鍋農業高等学校
校長 萩原 浩二 様

県立高鍋農業高等学校の紹介

寮宿舎「明倫寮」

園芸化学科
畜産科学科
食品化学科
フードビジネス科



■BOX披露

親睦活動委員 板垣 衛 君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

【坂田師通君】高鍋農業高校の萩原校長先生有難うございます。本日は宜しくお願ひします。

【茂木晃君】ホワイトデー、財津さんありがとう。

【松尾正博君】高鍋農業高校、萩原校長先生をお迎えして。

【藤本範行君】皆さん今日はホワイトデーです。財津さんに改めて感謝します。お返しはもうされましたか？

【関康仁君】入会早々のバースデーお祝い有難うございました。





「四つのテスト」
ソングリーダー 川上幸子君



ピアノ演奏
森幸子さん



青少年奉仕委員長
藤本範行君



副幹事 野添勝久君

「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記：「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI 理事会の意見が一致している。

■出席報告

出席委員 河原 好秋 君

(3/14)

正会員総数	42名
出席会員数	34名
ホーム出席率	77.50%
修正出席率	87.50%



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

『メイクアップしましょう』

県内近隣クラブメイクアップ会場

出席委員会

月	宮崎南 宮崎東 延岡東	宮崎観光ホテル西館8階 ウェルシティー宮崎 ガーデンベルズ 延岡
火	日向東 宮崎 西都 都城北	はまぐり荘 宮崎観光ホテル ウェディングパレス敷島 都城ロイヤルホテル
水	日向中央 宮崎北 都城西 佐土原	はまぐり荘 ホテルマリックス ホテル中山荘 ワールドコンベンションセンターサミット
木	延岡中央 宮崎中央 都城中央	ホテルメリージュ延岡 ワールドコンベンションセンターサミット 都城大丸
金	宮崎西 日向 都城	宮崎観光ホテル 喜重会館 メインホテルナカムラ